

鳥屋野潟の五方良し・ がってん（潟再生・発展）事業

田園資源 × 教育 × エネルギー・環境 × 交流

NPO法人 新潟水辺の会

<取り組みの概要>

鳥屋野潟の環境改善と湖面の利用開発に向け、

- ①空芯菜を栽培し、お茶などに加工し販売
- ②マコモやシジミの定着試験
- ③間伐竹を活用したいかだ作り
- ④子供たちの潟体験：いかだやカヌー乗船・潟の中を歩く

<取り組みの効果>

- ◆ 潟内外の資源を使って潟の循環システムの1モデルを市民に提示。
- ◆ 市民に、潟の中を歩いてもらい、湖上景観の魅力や生き物体験。「潟」に埋もれている資源の魅力とその可能性を実感。
- ◆ 竹いかだでの空心菜栽培から加工販売までの過程で、地元コミュニティ協議会、中学校、大学、団体と連携協働し、世代間交流や潟学習の場を提供。
- ◆ **新潟市12次産業化優良事例表彰2018 奨励賞受賞**

<NPO法人 新潟水辺の会>

- ◆ 概要 : 水辺の再生まちづくりや流域連携・活動支援から、潟環境再生発展事業に取り組んでいます。
- ◆ ホームページ : <https://niigata-mizubenokai.org/> ◆ SNS : <https://www.facebook.com/gattenprojectteam/>

<取り組みに至った経緯>

- ◆ 潟の再生・発展のため、イベントや事業を実施している。子ども達の「いつでもカヌーにのって潟に入れたらいいな」との声や、市民を潟に引き入れ、潟の魅力を発信、実現したいとの思いから、計画の試行に取組むこととなった。

<取り組む際に生じた課題と対応方法>

- ◆ 亀田郷の水田約4千haから毎年肥料分が落ちてくる。それをポンプで海に捨てる。潟の「汚濁排水」という見方が、「潟の魅力を封印」しているという大課題を、「もったいない栄養分」活用で意識を切り替え。

チッソ栄養分で育つ「空芯菜の湖上いかだ栽培」から食材、水質、魚の住処の改善、環境学習など実現中。
食べれば食べるほど、遊べば遊ぶほど潟も身体も元気になる！



<今後の展望>

- ◆ 潟中に入るとワクワクする次世代の市民を育てる。
- ◆ ①カヌーや板合せ、いかだの乗船体験、②潟野菜やシジミ、魚の収穫体験、③浮島いかだカフェ体験、④環境調査体験、⑤マコモ竹ポットでの潟環境貢献、⑥潟の対岸との往来交流、⑦潟での動く浮島の実現など、持続可能な潟を目指す。

<活用した支援施策>

- ◆ TOTO水環境基金 ◆ 公益財団法人山口育英奨学会自然環境保護活動助成事業
- ◆ 一般財団法人新潟県建設技術センター研究助成事業 ◆ 公益財団法人こじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金